



岡山県原水協通信

2012年7月23日 No228
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

早島町 副町長 議長が先頭を行進

県内行進6日目の7月21日は早島町から倉敷市役所のコースで行進が行われました。早島町の出発式では林副町長が「唯一の被爆国の国民として原爆の悲劇、フクシマ原発事故の悔しい思いを胸に秘め歩いてほしい」と挨拶されました。また町議会福田議長は「54年にわたる平和行進の熱意に敬意を表します。核抑止の立場に立つ勢力が存在する限り核兵器廃絶はない。早島町は非核町宣言を昭和59年に採択し平和行政を進めています」と訴えられました。町職員組合から飲み物の差し入れがありました。氏平県内通し行進者の訴えで副町長、議長は行進の先頭で横断幕を持ち行進参加されました。



「がんばって！」

倉敷 観光客から声援

7月21日の午後は全国的に有名な倉敷美観地区を歩きます。土曜日とあって大勢の観光客で賑わっていました。120人の行進団の先頭に立つ全国通し行進者の山口逸郎さんが「平和行進です。東京を5月6日に出発し90日歩いて広島に向かいます。私は80歳です」と元気に訴えると「ワーすごい」「頑張って」と声援が飛び交い固い握手を交わしながら行進しました。

ボクも私も平和が大好き

県内行進5日目は岡山市役所を出発し早島町に向かうコースです。途中元気っ子保育園の子どもたち14名が行進に参加。「平和がだいすき」と元気にCOOP大福まで横断幕を持ちあるきました。



「平和カレー」で元気回復

7月21日の昼食は毎年行進者が心待ちにしている「平和カレー」です。これは倉敷医療生協倉敷西、倉敷東、倉敷南、中島支部が協同して「行進者が元気に歩けるように」の心を込め毎年用意しているもので、この日は100食用意しました。